

日本での活動の報告



・10月5日、ガザ現地で支援活動を行っている NGO6 団体が集まり、芝の増上寺で「今すぐ停戦を！」と活動報告と記者会見、境内でのキャンドルサービス（左写真）を開催。あいにくの雨模様でしたが、多くの参加者がガザの人たちにエールを送りました。

・10月12日オンラインセミナー「ガザ危機1年、変わったこと変わらないこと」を主催。鈴木啓之さん、荻上チキさん、関根健次さんと当会の手島、中村とが熱心な議論を展開。4時間という長丁場にもかかわらず200名以上の参加者も熱心に聞き入っていました。

*（このオンラインセミナーの後日視聴をご希望の方は、事務局までお問い合わせください。）

・9月14日東大教養学部のホールにて高橋和夫さんの講演会「アメリカ大統領選挙と中東」を開催。150名以上が参加し、時宜に合った明快なお話に多くの方から「目を開かれる思いをした」という反応をいただきました。

・夏休みの青少年向けのイベント、小中高校大学でのお話会や講義、映画上映会でのトークなどが週に2、3回続くこともあり、ガザとパレスチナのお話をする機会が昨年来続いています。若い人たちにパレスチナの話をする機会が増えているのはとても嬉しいことです。

・11月23日には、池袋の立教大学で、「国連パレスチナ人連帯デー」のイベントとして、講演と音楽の集い「ガザの子どもたちのために」を開催します。酒井啓子さん、鈴木啓之さん、音楽ユニット「ラビィサリ」が出演します。ぜひご参加ください。

諦めずに停戦を訴え、支援を続けよう

市民にできることには確かに限りがありますが、同時代人として「こんなことを見過ごしてはいけない」と言い続け、またできる限り、現地で人々が生き延びるための支援を続けます。

物価高の中、ご寄付を度々呼びかけるのは大変心苦しいですが、お許しください。

現地で負傷した子どもたちなどを日本に受け入れることも、市民の活動としてできないかと考えています。停戦やラファの検問所が開くなど状況が少し落ち着いてか

らでないとは実現できませんが、ガザの子どもたちに「命のビザ」を実現するために、一緒に考えていただければと思います。引き続きどうぞよろしく願い申し上げます。

このサラームがお手元に届くころには、また状況が変わっているかもしれません。新しい情報はぜひ当会の YouTube、インスタグラム、Facebook、X、LINE などをご覧ください（右のQRコードから）。



パレスチナ子どものキャンペーンご案内

パレスチナ子どものキャンペーンは

1986年に活動を開始した市民のNGOです。国籍や宗教、民族にとらわれず、パレスチナと中東地域の平和を願い、そこに生きる子どもたちが希望を持って成長できるように、教育・保健・福祉分野での支援と人権擁護を進めています。また、コミュニティの強化と自立的発展に協力しています。

会員になってキャンペーンの活動を支えてください

- 会費（年会費）：4,000円、6,000円、10,000円（※ご都合にあわせて、金額をお決め下さい）
- 会報「サラーム」や随時のお知らせなどをお送ります。詳しくはお問い合わせ下さい。

ご寄付をお願いします



ご寄付は、当ホームページ「寄付する / いますぐ寄付する」（左のQRコード）から「お支払い方法：クレジットカード・銀行振込申込（決済会社：コングラント経由）」で常に受付しております。「ご都合のよい金額」「回数（1回・継続）」をお選びください。

これまで通り、同封の赤い郵便振替用紙、以下の銀行口座から直接お振込みいただけます。領収書が必要な方は、ご氏名・ご住所をメールやFAXでご連絡ください。（銀行振込の場合）支持会員の年会費のお支払いもクレジットカードが便利です。

郵便振替口座 [00160-7-177367] / みずほ銀行 高田馬場支店 [普通8030448]

三井住友銀行 目白支店 [普通6852351] / 三菱UFJ銀行 目白支店 [普通0152056]

税金の控除について

パレスチナ子どものキャンペーンは寄付金の税金控除を受けられる認定NPO法人です。税金控除には、当会発行の領収書をつけて確定申告をして下さい。

特定非営利活動法人 パレスチナ子どものキャンペーン（認定NPO法人）

〒161-0033 東京都新宿区下落合3-12-23 豊ビル4階 / Tel 03-3953-1393 / Fax 03-3953-1394

Eメール info@ccp-ngo.jp / ホームページ https://ccp-ngo.jp/

Facebook パレスチナ子どものキャンペーンnew / X @ccp-ngo



パレスチナ子どものキャンペーン